

USパテントニュース

- ・ 日立が台湾のモニターメーカーを訴えました。

日立は、台湾の主要モニターメーカー3社およびそれらのアメリカ法人に対して、北カリフォルニア地方裁判所に特許権侵害訴訟を提起しました。日立は、損害賠償金、ならびに、技術の使用および製品の販売等を禁止する差し止めを要求しています。

- ・ CMOと日立のクロスライセンス契約が成立しました。

台湾の液晶表示パネル供給業者であるCMO (Chi Mei Optoelectronics, 奇美電子股份有限公司) は、日立とクロスライセンス契約を結びました。クロスライセンス契約は、2010年迄で、液晶表示パネルの作製に関する約1000の特許についてなされました。

- ・ セイコーエプソンが Multi Union と和解しました。

セイコーエプソンが、香港系企業 Multi Union が製造販売するプリンタ用インクカートリッジに特許権を侵害されたとして米国で訴えていた訴訟で、和解が成立しました。

類似するケースで、セイコーエプソンは、英国系企業 Environmental Business Products Limited とも和解に到達しました。

以上は米国 GREENBLUM & BERNSTEIN 法律事務所から許可を得て、同事務所が発行した ASIAN PRACTICE GROUP NEWSLETTER から抜粋、翻訳したものです。